

令和5年度第2回まちづくり懇談会

「船橋市いきいき同窓会」

1. 日 時：令和5年8月10日（木） 午後3時00分～4時00分
 2. 場 所：船橋市役所9階 第2応接室
 3. 【議題】
 - ①超高齢化社会の中で、いきいき同窓会の果たせる役割を軸に、地域との接点づくりや同窓会員のポテンシャルの活用に向けた組織づくり
 - ②ホームページの立ち上げをきっかけに、高齢者のデジタルデバイド(※)解消に寄与できる活動を進める

(※) インターネットやパソコンのような情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる情報格差
-

◇市長

どうぞよろしく申し上げます。

●船橋市いきいき同窓会

■（会長）

よろしく申し上げます。

本日は、部長会メンバーといいまして、8名おりますが、今日はその中の5名が出席しております。

はじめに、私のほうから御挨拶させていただきます。

私どもの同窓会も、御承知のように40年、来年でちょうど40年ですね。船橋市というのは早くに取り組みしていただきまして、我々、それにととって活動してまいりました。

ただ、同窓会員数も年々減少しているのが実態でございまして、ピークは2,000名程度いたんですけども、この数年で1,000名台になり、3年ぐらいで1,000名を切ってしまいました。もちろんコロナの影響もありますが、入ってこられる方の考え方にも多様化が出てきているかなというふうには受け止めています。

市民大学校を母体として、私ども、いきいき同窓会があるわけですので、市民大学校とも連携し情報交換する中で、大学校の学生さんの考え方や価値観にも変化が出てきているのかなというのを感じています。

市民大学校というのはもう年齢制限もありませんで、18歳から受け入れているんですけど、実質、やはり70歳以上、60歳以上の者が大半です。そういう意味で、これからの在り方、活動の在り方を絶えず我々としては改革していこうということで臨んでいます。

この2年間も、組織の見直し、それから、部の在り方、それから、会費の制度等々、相当練って、組織の問題も含めて、改善、改革を行いました。

ただ、それをうまく運用していくのはまだまだこれからの問題でございますので、引き続き、市の皆様の御理解と御支援もいただきながら、共に歩んでいきたいなというふうに思っております。

■（副会長）

提案といいますか、ちょっと私、考えていることをちょっとお話ししますと、私も来週で78になります。我々高齢者にとって大事なことというのは、私が思っていますのはやはり仲間づくりじゃないかなというのを非常に前々から感じております。仲間づくりの中に市民大学校、この同窓会というのは非常に有意義だなというふうに感じておりまして、具体的に申し上げますと、やはり人間、元気で長生きするというのが最大の目標ですけども、やはりそのためには、やっぱり適度な運動をすることと、それから、人との交わり、人と会話をすることというのは非常に重要なことじゃないかというふうに思います。

現役を終え、だんだん時間がたつと疎遠になってくる、あるいは話題が環境が違いますから、話題がだんだんかみ合わなくなってくる。そういう問題がある中で、この市民大学校という一つの共通の学ぶ教科を通して人との触れ合いが出て、1年間こういろいろやっていると、やはり本当の意味での友達ができてきます。それが1年で終わるというのもやはり寂しいので、それが同窓会という流れになっています。残念ながら、このコロナを機会にこの人との交わりの機会がだんだん減ってきて、それが会員数の減少につながっているかなと思いますので、これを何とか復活して、事

業というのを一つのツールにしながら、やはり人とのつながり、これを大事にしたいなというふうに思っています。以前は、毎年毎年、福祉バスを使って、日帰りあるいは1泊旅行をしており、10年たった今もつながっています。

この市民大学から同窓会という流れというのは非常に重要だなと。これをもっともっと活性化していかないといけないし、また、市の方にもいろいろ御協力をいただいて、御支援をいただきたいなと思います。

■（会長）

これについて、市長のほうから感想などいろいろありましたら。

◇市長

先ほど、会長からお話がありましたが、今、グループで動くということが非常に希薄になってきている。これは、老人クラブなどのほかの団体もみんなどんどん会員が減って行って、従来のように何か一緒になってやるというところの意欲というのがどうも何か薄れてしまっている感じがあります。

もともと老人大学をつくったのも、当時の大橋和夫市長が、これから元気な高齢者対策が必要ということで、市としては県内で初めて船橋市が始めたわけです。

いきいき同窓会のリニューアル後のホームページを拝見しましたが、いろいろな人たちの連絡の手段というのは、普段はどのような感じでやられているのですか。

●船橋市いきいき同窓会

■ 市民大学を卒業してからも、各クラスごとに活動している部分があります。例えば、パークゴルフやグランドゴルフの開催、あるいは役員会を毎月開催するとか、そういうところを通して各班ごとに連絡をする形です。

それから、活動を卒業し、なくなったグループのほとんどはばらばらになっています。聞いてみるとリーダーがいらないんですね。リーダーになる人がいないというところが一つのネックになります。

■ 確かに連絡手段というのがなかなか無くて、ホームページをリニューアルして1年と少し、大分浸透はしてきましたが、延べの人数では、1か月に見てくださる方が会員数の8割ほどですが、私どもが何度も何度も見えていますから、それもカウントされていますので、実質的には半分もいないと思います。まずは、ホームページを見てもらうことが一番なので、そこをいかに乗り越えていくかというのが課題になっています。

折を見て説明させていただいていますが、そのデジタル化に対する足踏みが一番の課題だと思っています。当初は、URLを入れたり、QRコードじゃないと見られなかった状況も、おかげさまで現在は、グーグルとかなんかでも、「船橋市いきいき同窓会」と言うだけでアクセスできるようになったので、それで少しは増えていると思いますが、その辺を少し解決していかないといけないなというので、折を見てはやっています。

ただ、一番の問題は、例えば、何かの会員募集というのを行いまして、ネットで、インターネットで申し込んでメールで申し込んでいただくのですが、受け手の側がまだデジタル対応ができていない部署もあって、その辺の底上げをしていかないといけないなと思っています。

市民同士、何というのか、いきいき同窓会に参加して思ったのは、すごく前向きな会員が多く、ポテンシャルがすごくあるんです。これまでの長年の経験で培った仕事のスキルということだけではなくて、人格的なものというのがすごくありまして、それに助けていただくことがすごくあります。だから、そういうポテンシャルが少しでも生かせればと思っています。

何かやってもらうことではなくて、何か参加できたらというところでポテンシャルを生かせたらと思っています。

◇市長

確認ですが、市民大学校が1年で修了します。そこから同窓会に入ってくる人自体がすごく減っているのですか。

●船橋市いきいき同窓会

■ そうですね。

- 少ない。もう明らかに少なくなりましたね。
- 以前は、3～4年、4～5年前までですか、大体350名ぐらい卒業しますと、一旦はほとんどの人が入る。市民大学校に行ったときに、各クラスごとにコミュニケーションを取るために毎月1,000円ぐらいずつ会費を徴収して、それで毎月ちょっとした食事会ですとか、何かをやっていました。卒業するときに全員で卒業のパーティーをやっていました。ところが、それはもうやめていますから、それで残ったお金を同窓会に入る1,000円の会費に全部まとめてやって全員が入会するという仕組みだったところがほとんどです。

ところが、今は会費も集めていませんから、最初から自己負担1,000円となると、「いやー、市民大学校、よく分からないからいいや。」「まあ、同窓会、いいや。」という感じで、ほとんどが任意の自主申告という状況になっているというのが実態です。

◇市長

市民大学校のルームアドバイザーは、みんな同窓会の方々ですか。

●船橋市いきいき同窓会

- そうです。
- 私どものほうから推薦する形なんですけれども、実際は今、ルームアドバイザーをしている方が、もちろん同窓会の出身ですけれども、次の方を、親しい方であるとか、交流のある方を御自分で選んでいただいているので、いきいき同窓会が推薦してルームアドバイザーをお願いするという流れにはなっています。我々は、部長会のメンバーとルームアドバイザーとも年1回打合せ会議を持ってコミュニケーションをとるように心がけています。

◇市長

市民大学校卒業の前に、いきいき同窓会のPRは。

●船橋市いきいき同窓会

- はい。行っています。
- それは従来と同じですね。
- それは毎年1月に在校生に対して、同窓会活動の説明会という形で行っています。
- そうですね。私も10年前でしたが、以前は、ルームアドバイザーの権限が強くて、権限が強いというのもおかしいですが、卒業生は同窓会に入るんですよと一方的に言われまして、それから、同窓会で、例えば秋の運動会をやっている。これは全員が出席する行事になると言われて、あ、そういうものかと。我々は分かりませんから。もうルームアドバイザーの言うなりでした。

今は、聞いてみますと、いやー、そんなこと言ったって、みんな反発があって言えませんか、ルームアドバイザーの人たちが言っています。いや、何でそんなルームアドバイザーの言うこと聞かなければいけないんだと。

何か、随分変わってきているんだという話なんです。

- ここ十数年の間に2回、3回再入学をされている方がかなりおられます。その方から、いい情報と悪い情報の両方を聞き、そういう意味での風土とか、変わってきているなど。我々のとき、私、12期で8年前ですけどね、クラス50人、そのときは1クラスが50人ぐらいで、2、3人がそれで卒業していった。ほとんど全員ね、いきいき同窓会に入っていたんです。それに全然違和感とか抵抗感がなかった。そういう考え方で再入学されたり、いろいろなほかを見た事例からも、ちょっとこのクラスの在り方が変わってきていると感じます。
- 変わってきているみたいですね。

◇市長

これは難しいですね。

●船橋市いきいき同窓会

ですから、先ほど私も、いきいき同窓会の中の市民大学校の仲間づくりという部分でもお話ししましたが、規約等を見ますと、同窓会というのは、各市民大学のクラス単位で物事を考えていますので、そこの代表の人が、同窓会に入ったら理事として各クラスの人たちをまとめてくださいという仕組みになります。ですから、情報伝達もその人を通してやるという、その流れできていたのですが、現在はもう、そういう卒業してからまでみんなの面倒を見るのは嫌だということで、入りたい人は個人個人で入ってくださいということで個人会員の人が増えてきています。

◇市長

なるほど。

●船橋市いきいき同窓会

- この4～5年で随分変わりました。
- それに付け加えますと、やはり同窓会の会員の方の考え方も大分変わってきています。同窓会の中に同好会というものがあり、我々、15ほど持っているんですけども、市民大学校を卒業して、同窓会に入るよりも同好会に直接行きたいという考え方の人が多くなってきています。まあ、システムとしては、我々は、市民大学校を卒業して、同窓会に入ってもらって同好会という、そういうルートでずっときているわけですけども、どうも学生さんの意向は、自分の趣味を通すようなところに直接行きたいという志向に変わってきています。

◇市長

同好会はゴルフとかそれぞれいろいろやっていると思いますが、同窓会としての何かイベント事というのは、いわゆる作品展や体育祭とか、あれが同窓会のイベント事という感じですか。

●船橋市いきいき同窓会

■ はい。三人行事と称して、体育祭、作品展、芸能大会があるんですけども、もちろん、それぞれの企画も同窓会でやって、競技大会、各種競技大会としてパークゴルフだとか、3つぐらいありますし、それから、ゴルフ大会があったりとか。各同好会が独自に活動しているのは同好会だけでやっているというのがありますので、それが今、15同好会の、その同好会も会によっては減ってきている。前は、歩こう会などは300人ほど会員がいましたが、今は何人ですかね。

■ 今、120~130人ですね。

■ 歩こう会に入りたくて、説明会の後、すぐ申込みをしているような時代もありましたが、そういうのも変わってきています。いろんな考え方と興味の範囲が変わってきているなど感じます。

■ 例えば、先ほど言ったクラス単位という問題の中で、歩こう会などは非常にいい例になりますが、歩こう会は大体毎月やっていますけれども、以前は300名ぐらい出席していました。それで、終わって、みんなで食事をすとかお茶を飲むとか、それが楽しみで参加するという感じがありましたが、今は、個人単位となってきましたから、みんなで食事に行くとかお茶を飲みに行くといっても本当に親しい人が1人か2人いるかないという感じで、クラス単位で行くというのがほとんどなくなっているということなんです。

■ このような変化の中で、今回、「いきいき同窓会の果たせる役割を軸に、地域との接点づくりや同窓会員のポテンシャルの活用に向けた組織づくり」ということで提案をさせていただきました。

先ほども少し話をさせていただきましたが、何しろ同窓会に入ってみて、元気な高齢者が多いのにすごく驚きました。こんなにみんな生き生きと動いているのかというのでとても驚いたんですが、先ほど、副会長が言っていたように、人とつながっている方というのはとても元気なんです。それであれば、昨今のこういう、何というのかな、会員数が減っているとかということを見て、同好会の会員増を図って、やりたいことができるのが同窓会だというような位置づけをもう少し打ち出してはと考え、今年度になりまして、パソコン研究会と川柳同好会と、それから、健康麻雀同好会と

いうのができました。とても活発に動いていますが、そういうところでリーダーシップをとっている方は本当にいろんなことができるんですね。ただそれだけをやっているわけではなくて、人のお世話もできるし、立案もできる。そういった力をもう少し引き出せないかなという気はしているんです。

また、公民館で講師として教えていらっしゃる方もいるし、何かその力量というのをこのまま無駄にしてはもったいないと考え、そういう方が活躍できる場がもう少し同窓会でできたら、拾い上げられたらいいなという気持ちがあるんですが、なかなかそこまで力が及んでいないというのが現状です。

◇市長

それで、今のお話は、同窓会の中の同好会の種別を増やすということと、そういう個人的ないろいろなスキルを持っている人がいるから。

●船橋市いきいき同窓会

そう。そこから、もっともっとそういう同好会ができたらいいなところですね。

◇市長

さまざまな知識・技能等をもつ市民の方々の能力の活用という点では、教育委員会で生涯学習サポート事業というのがあって、教養・趣味・スポーツなどの分野についての知識や技能等を有する方に登録していただく事業を行っています。ただ、これが同窓会の同好会を増やすことにつながるかどうかはまた少し別問題になりますが。

●船橋市いきいき同窓会

そうですね。

◇市長

自主的に学びたいと思っている人と自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人を結び付けて、学び合いをお手伝いし、学びの輪を広げるという意味では活用いただけるかと思います。

●船橋市いきいき同窓会

- その辺のところは少し私の中でも自己矛盾をしているんですが。
- 市の広報を拝見していると、特に1日号では、情報ひろばの中で多くの公民館で公民館主催の企画、イベントをたくさんやっちらっしゃいますから、そこへ我々が提案で入るとするのは結構難しいかなという気がしています。公民館は公民館で講師の方のネットワークを持っていると思うので。

◇市長

公民館は事業担当者がいるので、独自にいろんなプログラムを組んだりとか、あとは、市のほうでこういう講座を開催してもらえないかという声に対して、公民館がそういう市民の方々の力を活用する事業というのもやっています。

●船橋市いきいき同窓会

あー、なるほど。

◇市長

ただし、この事業は事前登録で予定事業数の15事業が確定次第締め切りになります。

(社会教育課長)

各館ごとに募集をしまして、事業内容がその地域の活性化に関するところとか、ある程度の条件があります。その条件に合っているかどうかという部分と、あと、審査を受けていただくことになるので、その審査を通れば、公民館と一緒に事業をする、主にその講師の代金などは公民館が支払わせて

いただくというような事業があります。今も募集をしていますので応募いただければと思います。

●船橋市いきいき同窓会

今のお話は、私どもが直接その各公民館とお話しさせてもらって、私どもで教養・趣味・スポーツなどの分野についての知識を有する方がいるんですけど、公民館の講習会の中でその能力を活用いただけるか、そういう契約をすれば能力の活用が可能になるんですか。

(社会教育課長)

そうですね。それは、どちらかという、講師を呼ぶような事業について、講師を呼ぶにはお金がかかるので、その部分を公民館が負担して、地域の方が課題に思っているようなことを事業としてやりましょうというような趣旨の事業になります。なので、講師自体を御自分たちで用意したいということだと、もしかしたら少し趣旨が合っていない可能性があります。

●船橋市いきいき同窓会

■ 合っていないかも。

■ そうですね。

◇市長

先ほどの副会長の話ではないですが、最近、若いグループでも同じようなことがあって、青年会議所とかも、以前は100人ぐらいで活動していたところが、今はもう20～30人しかいなくなってしまうということを聞きます。

それで、その若手のグループと話をしていても、必ず共通して出てくるのが、いい意味での強引な人間がいなくなったと言っています。要するに、以前は、先輩たちに、いいから一回来てみろとかと言われて、もう嫌々行って、一步踏み入れたら面白かったから続けたというパターンが昔は結構あったと思いますが、今、若手でさえそれなので、さっき少しルームアドバイザーの話させて

いただいたのは、そのぐらい強引なルームアドバイザーがいないと全てが上品になってしまう。

●船橋市いきいき同窓会

それはありますね。

◇市長

昔のおせっかい焼きさんみたいな人が、まあ、いいから、来てみなよとかという、この会話が今の若者にもないという話です。

●船橋市いきいき同窓会

それは確かにあると思いますね。

◇市長

私も知り合いで、いきいき同窓会にも入っていて、もうすごい楽しい楽しいと言っていた人は、やはり無理やり飲み会に誘われて、それで、一回行ったら面白い人達が沢山いたから、同好会はもちろんなんだけど、その後の飲み会が楽しみだから、大手を振って奥さんの元を離れて飲みに行くと言っていました。

●船橋市いきいき同窓会

■ そういう声は実際に何人も聞きます。

■ 確かに強引にというのが減ってきているかもしれないです。

◇市長

何か、その同窓会の紹介の仕方が、何かもう少し強引さがあってもいいのかもしれない。

●船橋市いきいき同窓会

そうですね。

◇市長

青年会議所などは、そんな話をしてから、やはり強引に誘ってみるという形で、ここで4人ぐらい増えたと聞きます。やはり誰かが思い切り引っ張ってやるか、背中を押してくれないと、みんな今は動かないので、そういう、何か当たり障りのない範囲でというのが難しいですけども、何かそういう時代になってしまった。

●船橋市いきいき同窓会

■ そうですね。

■ これが難しいですね。ルームアドバイザーの人たちに強引にやりなさいと言うわけにもいきません。

◇市長

そうですね。あとは、先ほど言っていた同窓会には入らないけど、同好会には入るとい感じも何か日本人ぽくないですね。そういう組織的なものは駄目なのでしょうか。

●船橋市いきいき同窓会

原則、同窓会員じゃないと本当は同好会に入れないのです。

◇市長

そうなんですか。

●船橋市いきいき同窓会

■ ですから、順番が逆になりますが、同好会に入った方は同窓会には後付けで入ってもらうという状況になるんですけども。

■ 母体である市民大学校もどんどん定員が少なくなっています。

◇市長

ええ。

●船橋市いきいき同窓会

■ だから、ある部分やむを得ないところもあるのかなとは思いますが、もう少し我々と市民大学校のコミュニケーションみたいなものがうまくできたり、交換し合うというような場が必要かなと思っています。私も何回か学級長会議へ出ましたが、あまりいい話が出ないので。

■ 今、広報の担当をしまして、昨年から新しい同好会としまして、パソコン・スマホ研究会というのが立ち上がりました。その事務局をやっていまして、現在は会場としまして、総合教育センター、昔の視聴覚センターですね、こちらを使わせていただいております。

ただ、月4回開催しておりますが、3回しか予約できない。あとの1回は公民館を使わせていただいております。そして、総合教育センターではパソコンを無償で使わせていただいて、我々としては非常に助かっております。現在、市民大学校のパソコン学科を卒業した方を中心に、約100名卒業されていますが、その半分ぐらい、50名ぐらいが熱心に受講されております。月に2回ずつ、2クラスありまして、それで、その施設、それとパソコンの利用につきまして、非常にありがたく思っております。これをやはり継続的に絶えることなく使わせていただけるということと、願わくば、公民館あたりでも、もう少し使える場所、パソコンなどを考慮いただけないかと感じております。

今回の提案にも関連しますが、今はパソコン学科を卒業した方が中心になっていますが、それ以前に入学されたお年寄りが全くデジタルデバイドでございまして、そういう方を引っ張って一緒に学んでいきたい。

今、中心になっている女性の方が、非常に生き生きと勉強されています。

半数以上が女性の方です。それで、男の人は、仕事上パソコンを使ってきた方がおられますが、女性の方は主婦を中心にやっておられた方は、パソコンを使う機会が少なかったと思いますので、非常に生き生きと喜んで使っておられます。ということで、その施設の利用の感謝と、その継続をお願いしたい。

それと、もう一つは、市で発行されている広報、これは我々、毎月2回の発行を楽しみにしております。中身を見ますと、その中に市民大学校の紹介、募集要項等はその時期には出ます。それで、一つの提案なんですけれども、同窓会の活動状況を小さい記事でも結構ですから、どこかに紹介いただくことができないかどうか。敬老会、敬老の日なんかには、敬老のお年寄りの紹介とか、小学生の新聞記事とか、我々楽しく見ておりますが、その中、その一つとして、同窓会の活動の紹介を年に1～2回ぐらい取り上げていただきまして、一般市民の方に、市民大学校の同窓会、市民大学校と同窓会の在り方というのを少し広報していただく、その機会がとれないかどうか、その2点をお願いしたい。

◇市長

今お話のあったパソコン・スマホ研究会ですが、教育センターのほうで月3回使っていて、パソコンのほうですけど、1回は公民館とおっしゃっていましたが、公民館はどこの公民館を使うんですか。

●船橋市いきいき同窓会

主に中央公民館です。

◇市長

中央公民館で活動される時は、パソコン自体はどうされているのですか。

●船橋市いきいき同窓会

パソコンは持込みです。ですから大変なんです。

◇市長

自分で持ってきて。そうですね。

●船橋市いきいき同窓会

教育センターで行う3回でも非常に助かっておりますので、これはもうぜひ継続してある程度使えるようお願いしたい。

◇市長

総合教育センターのほうは、今までのやり方なので、何かよほど先生方の研修ですとか、立て込まない限りは大丈夫だと思います。あと、広報への同窓会の扱いなんですが、これをやるのは簡単なんですが、広報は、例えば同窓会を紹介すると、一般市民の方々が参加できるということが大前提になるんですよ。

●船橋市いきいき同窓会

そうですね。

◇市長

ですから、例えば市民大学校を紹介するときに、卒業生の人たちが同窓会で引き続きこういう活動をやっているという紹介はできるのですが。

●船橋市いきいき同窓会

それで結構です。

◇市長

同窓会という活動で、みんな元気にやっていますよというお知らせをすると、では、入りたいけど、どうしたらいいのという声が上がってきます。

●船橋市いきいき同窓会

もし、そういうことがあれば、市民大学校に入学して、その後、同窓会やりますということですね。

◇市長

そうですね。ですから、同窓会だけを取り上げるのではなくて、市民大学校と一緒に、卒業した後は同窓会もこんなに皆さん楽しく活動していますといった形であれば、そちらはできると思います。分かりました。

(社会教育課長)

まず、パソコン室のお話だけ少しよろしいですか。

◇市長

どうぞ。

(社会教育課長)

パソコン室、総合教育センターの貸出しではなく、今まで視聴覚センターで貸出しさせていただいたものになります。

◇市長

視聴覚センターのほうか。

(社会教育課長)

はい。視聴覚センターが移転してしまったので、市民大学校のほうでお貸ししている部屋になっています。もともと市民大学校では、貸し部屋制度というのがないので、その中で引き続き同窓会の方に活動をきちっと続けていたただこうということで、今、経過的な措置として、お貸しをしている状況にはなっていますので、そこの部分は改めて御相談させていただきたいと思います。

◇市長

パソコンの備品はどうなっているの。

(社会教育課長)

パソコンはそもそも市民大学校のパソコン学科がありますので。

◇市長

市民大学校が持っているパソコン。

(社会教育課長)

そうです。ぜひそのまま御活用いただければと思っておりますが、そもそも制度が少し形態が変わりましたので、そこはまた御相談させていただかないといけないのかなと思っております。

●船橋市いきいき同窓会

変更の可能性があるということですか。

(社会教育課長)

そうですね。はい。

◇市長

今までは、視聴覚センターのところを借りてやっていたみたいない感じ。

(社会教育課長)

そうですね。

◇市長

それはまた少し調整ですね。

●船橋市いきいき同窓会

■ はい。

■ 今、私が考えているのは、やはりいきいき同窓会のありようというのは変わっていかなくてはならないと実際は思っています。

今までは、まず、市民大学校の学生さんから同窓会に入ってくださいと、そして、同窓会費を払ってもらった人が同好会活動や競技大会にも参加で

きるということで、それが、ある意味では当然なんです、そういう仕組みになっているんですよ。それがやはり、今の現状を考えると、もっといきいき同窓会の在り方として、学生がメインにはなるんですが、もっといろいろな体験会みたいなものをアピールしていかなくてはいけないので、いろいろな競技大会もあれば、市長がいつも作品展に毎回御出席いただいたり、以前は、体育祭といったら、課長さんはじめ役員の方、出てもらったり、双方で参画していくというのが、コロナの流れでいろいろ切れてしまいましたので、今の市民大学生に対して、体験会に参加しませんかということとか、講演会は、もっと皆さん御家族の方や、同窓会員だけではなくて、友人の方もお誘いくださいと。それで、多くの人に同窓会のやっていることを、同窓会員じゃなくても理解してもらおう努力をもっとしないと、理解度が進まないのではと思っております。要するに、現在、非同窓会員であっても、ぜひ一度同窓会というのは、こういうものだということを知ってもらおう体験会みたいのを、もう少し積極的にアピールしなくてはいいかなと、私案なんですけれども考えています。そういう意味で、市関係者の皆さんも、いわゆる私どもの行事のほうを少しのぞいていただければ幸いですし、高齢者福祉課さんがもうメインでいろんな点で御指導、御協力をいただいておりますので、甘えてばかりではいけないのですが、物すごいいろいろなスタッフの皆さん、大変真摯にご協力はいただいておりますけど、何とかそういうことに対して、我々も還元できるような形でこの活動がより活発にしていかななくちゃいけないと思っていますところなんです。

そのためには、今までの既成概念をちょっと外して、新たに、一度、同窓会というのはこういうものです、こんな講演会もあるんですということをやってみてもいいのではないかと考えているところです。

ただ、それには少し市の方にもご理解をいただき、大変の長年にわたって会員数が減っても、補助金は同等の形でご協力いただいておりますわけですので、一方的に我々だけで決めるのではなくて、市の方との合意の上で、片方で市関係者の皆さんも、我々の行事に参加いただいて、アピールいただければというようなことをお願いしたいなと今日思っていました。

市民大学校の在り方もどんどん変わってきました。特別講座を設けたりとか、いわゆる市民大学校生だけではなくて、いろんな形のカリキュラムをつくったりとか、いろんなところで変化が起きているなという感じはしています。市の組織の中でもやはりそういうことに合わせて、我々のこの同窓会の立ち位置というものを、まず、会員になってくださいとか、そういうのをやったんですよ。非会員はこれに参加しては困りますということをやったりしていたんですが、ずっとそのまま会費なしでできないので、まず、体験していただくことで、市民大学校を経ないといけないんですけれども、そういう流れを少し変えていかなくてはいけないなど。でないと会員が減っていく一方になってしまうことにもなるなと思っています。

◇市長

そうですね。これは、同窓会のことになるので、こちらがあまり立ち入って言うわけにもいかないのですが、ただ、これから、同好会などの活動プラス、さきほど会長がおっしゃっていたように、何かこう講演会とかで、みんなが、いろんな人が聞いてためになるよというものは、会員プラス、お友達を誘ってきてもいいですよとか、広報の件の際にも言いましたが、いきいき同窓会主催の、会員だけではなくて、一般市民の方も参加できる何かいい内容の講演会であったりとか、そういうものを何かやっていく時期に入っているのかもしれない。

●船橋市いきいき同窓会

はい。そうですね。今年の桂三枝さんをお呼んでの講演会には大変多くの方、200名ぐらいですか、中央公民館の講堂がいっぱいになるぐらい入っていただきました。ちょうど作品展をやっているときでしたので。

◇市長

はい。

●船橋市いきいき同窓会

ええ。市長にも見ていただいたときに、あそこでやっていました。

◇市長

そうでしたか。

●船橋市いきいき同窓会

■ もちろん、だから、そういう企画にもよると思いますが、アピール等をやっていかななくてはいけないなど思っているんです。

■ 先ほど市長がおっしゃられました、やはり同窓会の人たちだけではなくて、もっと一般の人たちに対するアピールで、例えば公民館にお願いして、同窓会でやる催し物を公民館にいろいろ展示してもらい、こういうことをやっているんだというPR、お願いするということもできるでしょうか。いろいろ高齢者福祉課さんに聞きましたら、公民館で出すのは公民館の館長がどう考えるかだという部分がありますから、必ずしも全部ができないかもしれませんが、よきそうだなというようなのは、パンフレットをどんどん公民館に置いて見てもらって、それで、参加してもらえようなども考えたほうがいいかという話もいただいています。

◇市長

そうですね。市民大学校も講座によって、定員ぎりぎりのものもある。

(社会教育課長)

割っているのもありますし、超えているものもあります。

◇市長

超えているものもある。だから、濃淡があるんですが、そういった、カリキュラムのづくりも時代に合わせていかないと、やはり、以前、人気があったからずっと人気があるかという、そうでもなくなってきたりしているので、その辺を工夫はしていく必要があるので、そういった市民大学校のPRとともに、何か合体するような、少しプラスアルファの部分があってもいいのかもしれない

いですね。だから、市民大学校でこういうカリキュラムがあります。そして、卒業した後は、こういう同窓会みたいにみんなが元気にやっていますといった形で、プラスアルファでやっていくのがいいかもしれないですね。

●船橋市いきいき同窓会

- それがある意味では必要かもしれないですね。最初に言った仲間づくりというのは、市民大学校から同窓会につながっているという部分だと思っておりますが、今の市民大学校の中で同窓会という話をしますと、何、同窓会って何なのとか、秋口になってもまだ、何、同窓会に入らないといけないのというような感じのものですから。

できたら、市民大学校の入学の当初から、これを卒業すると同窓会というのがあるって、これはもちろん希望制なんだけれども、こういう流れがありますよという、全体的な流れを最初から説明して理解してもらうような仕組みも必要かなという感じがします。

- 今、市民大学校自体は、まさに老人大学から脱皮して、今度9月にも新しい特別講座を開いたりとか、計画されていらっしゃる。だから、市民大学校というのは十分脱皮しつつあるのかなというような感じを受けていますが、いきいき同窓会がその脱皮の流れについていけないというのが現実、現状でございます。

◇市長

やはり、70歳半ばとかで、その年齢になってもみんな友達がいるほうが楽しいでしょ、というところをいかに伝えるか。

●船橋市いきいき同窓会

- そうだと思いますね。
- それと同時に、本当はもっと機能を強化したいなと思っています。例えば私どもの会報は、前は、各クラスの代表が理事会に出席したときに持って帰ってクラスで配布していましたが、だんだん減ってきて、それがホームページができたことによって、もう会報がなくてもホームページを見れ

るようになってきた。反面、おひとり暮らしの会員もまた増えてきているんです。ご近所にもいらっしゃいますが、会報を近ければ持って行ってあげるだとか、もっと本当は元気にしてますかというような、そういうネットワークみたいなのができる、地域社会の中で非常に大きな機能と価値はあると思うんです。しかしながら、そこにもう一歩踏み込めてないのも現実なんです。ですから、うまくいっているクラスはワイワイ集まって、何回もこの仲間内で飲み会もするだとか、私のクラスなんかも、いろんな企画があります。クラスの中で健康麻雀がある、歩こう会などは、江戸歩きをするだとか、たくさんの企画が用意してあり、だから、そういううまくいっているクラスと、会員がもう減ってきて、クラス代表が1人、2人、3人になってしまい、クラス会活動ができないというのもたくさん現実にあります。

ただ、ここにきてやはり一歩、同好会が脱皮するには、先ほどお話ししたように、もっと多くの人に同窓会の活動をどうやってアピールするかというのが一番の課題かなとは思っています。それで、ああ、同窓会活動って、これは市民大学校を経てからなんだということが認知され、それが市民大学校の入学にもつながっていけば、もう少し太いパイプが大学校からいきいき同窓会になっていけばなということなんです。

◇市長

やはり、卒業パーティーがなくなったのが大きいですね。

●船橋市いきいき同窓会

- それはよく聞きます。
- それは大きいと思います。

◇市長

私も、以前、卒業パーティーがあったときは出席させてもらいました。

最後、見ていると、みんな一杯入っているから、言いにくいことも結構ガンガン言いながらやっているじゃないですか。

●船橋市いきいき同窓会

■ そうですね。

■ そうなんですね。

◇市長

やはり、ああいう時間が必要だなと思います。

●船橋市いきいき同窓会

おっしゃるとおりです。

◇市長

真面目にテーブルの上でずっと会議をやっているみたいな感じになってしまうから。

●船橋市いきいき同窓会

それで、みんなで劇をしたり、コーラスしたり、そのときにクラスがまとまっているんです。

◇市長

まとまりますよね。

●船橋市いきいき同窓会

■ 私の経験で、すごい印象にありますのは、卒業するときに各クラスごとに何か出し物をするために練習するわけです。そして、9～10月ぐらいから、もう下期が始まると練習していた。それで、練習の時間というのは、9時から授業が始まりますから、8時45分に集合して、机を動かして15分間だけでも練習していました。炭坑節などもやっていたんです。それで、5人です。今でも覚えていますけど、5人がですね、日頃から少し変わっていたんですが、俺はそんなのやらないよと言って出ないんです。し

ようがないから、5人を除いてやっていたんですが、授業がありますから、その5人も練習の時間には来るわけです。すると、みんなが一生懸命になってやっているのを見ていて、2か月ぐらいしてから、面白そうだね。やはり出ようかなって2人ぐらいが言ってきた。そして、最終的には全員がやるようになったんです。それで最初は嫌だ嫌だよ、そんなもん、今さらそんなのやれないよって言ってやっていたのが、毎週、練習を15分間ですけど、みんなでやっているのを見ていたら、じゃあ俺、やるわという話になって、1か月ぐらいからですけどね、2か月間ぐらい、3月には全員でやったというケースがありました。だから、みんなでやって見せるということも、で、楽しくやっていると、あ、俺も参加しようとなるんでしょうね。

- 各クラス会の学級長というのをつくりまして、そのリーダーシップで雰囲気全然変わってきます。そして、卒業後はまた卒業後で、新しくできたクラス会の会長がまめな会長がいると継続できるんです。ところが、私がたまに学級長会議に出ると、この人が学級長をやっているのは、このクラスはまとまらないなというような気になることがあります。

◇市長

そうですね。何かいい意味で、簡単でもいいから、何かして、最後にみんなでまとまっていくことをやるという機会があるといいですね。

●船橋市いきいき同窓会

視聴覚センターで立食でお茶を飲むとか、それで十分だと思うんです。

昔は、西船フローラがありました。

◇市長

そうですね。

●船橋市いきいき同窓会

■ 以前は立派な修了パーティーができたんですが、今はちょっと無理だと思いますので。

■ 基本的には、市民大学校も同窓会も、元の精神は仲間づくりだと思っています。仲間づくりのために、仲間づくりと言っても、毎日毎日飲んで騒いでいるわけにはいきませんから、そのツールとして、例えば陶芸がありますとか、絵がありますとか、そういうものをやりながら、仲間づくりがだんだんとできてくるというのは、非常に高齢者対策として意義があるのではないかなと考えます。陶芸をやることが高齢者対策という問題ではなくて、それを通して仲間づくりができて、いろいろ楽しく過ごせるというのが本来の高齢者対策ではないかと思います。

◇市長

そうですね。

●船橋市いきいき同窓会

一言で言えば、生涯学習と仲間づくり、この2点になるのではないかなと私は思っています。

◇市長

もう随分前になりますが、私が公民館職員でいた頃にカルチャーセンターが流行りました。当時、公民館とカルチャーセンターって、何か公民館側は非常に危機感を持ちました。要するに、公が公民館でやっている、それよりももっといい講師を呼び、少しおしゃれな場所でやったときに、公民館活動にすごいダメージがあるのではないかという話がありましたが、そのとき明確になったのは、要するに、個人として楽しみたい人はカルチャーセンターへ行けばいいのではないかと。だから、地域の仲間づくり、公民館はあくまでも個人の学習意欲プラス地域の中のつながりとか、そちらの大きな目標があるから、それはそれでぶれないでやっていけばいいのではないかとの結論になりました。

ですから、市民大学校のこともそうだし、いきいき同窓会もやはり、そのつなぐということの良さというのを大事にさせていただいて、減ってきてはいますが、まだ700人以上いるわけなので。

●船橋市いきいき同窓会

そうですね。はい、います。

◇市長

その辺で、根っこの部分だけはしっかりやっておいてもらって、それで、市のほうもどうやってサポートを一緒にできるかという形ですかね。

●船橋市いきいき同窓会

■ そうですね。

■ そうですね。時間になってきたので、あつという間のような気もするんですけど。

◇市長

これからも、何か皆さんで考えて、こんなのやってみようかなという形で、まずは自分たちで動いてもらうのが大前提になりますが。

●船橋市いきいき同窓会

はい。もちろんです。

◇市長

この辺で何かちょっと一緒にサポートしてもらおうと助かるなというのは、できることとできないこと、当然ありますが、そんな中でコミュニケーションを取っていただいて、市のほうも非常に大事な仕組みと考えていますので、今後とも頑張っていただきたいと思います。

●船橋市いきいき同窓会

こちらこそ、いろいろご支援いただきまして、また、今後ともよろしく願
いいたします。本日はありがとうございます。

◇市長

こちらこそ、ありがとうございます。

●船橋市いきいき同窓会

■ ありがとうございます。

■ どうもありがとうございます。

— 了 —